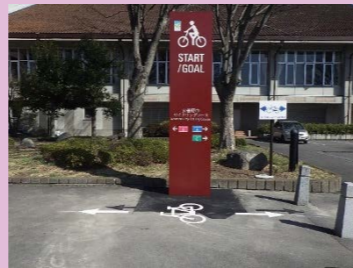


サイクリングコースの整備

安曇野市は自転車を活用したまちづくりに取り組んでいます。その一環として、誰もが安曇野の良さを感じながら、安全に楽しく自転車に乗ることができるサイクリングコースの整備として、ルートマーカーやサイン設置を行いました。



サイクリングコースのスタート&ゴール
(道の駅アルプス安曇野ほりがねの里)

他にもこんな事業に活用しました

仕事の創出・企業の支援

若者や女性が起業しやすい環境を整えるとともに、新規起業等に対する支援を行っています。テレワークセンターを運営し、フルタイムでの就労が困難な方に就労環境を提供しました、空き店舗を活用した事業を営む際の家賃補助、若者及び女性が起業する際の運営費と家賃の補助などを行い、市内での事業継続につなげています。また、主要産業である製造業等の基盤強化につなげるため、工場用地取得、工場等設置、生産設備取得の一部補助などの企業支援を行いました。

農業振興・農地保全

安曇野を創る農業の振興を図るため、安曇野市の地味・気候などに適した玉ねぎやジュース用トマトなどの産地化を目指しています。中でも玉ねぎは、甘くておいしい「安曇野産玉ねぎ」として評判を得ています。

不妊治療に助成

不妊治療を行っている夫婦の経済的な負担軽減を目的に実施している事業に寄附金を活用しました。不妊・不育症治療は経済的負担が大きいため、治療費の一部を助成しました。助成事業による支援は大変助かるとの声をいただき、少子化対策として成果を期待している事業です。

皆さまからいただいたご寄附は、安曇野市の発展のため、これからも大切に活用させていただきます。

今後とも安曇野市へのご支援をよろしくお願いいたします。



(お問い合わせ先)

安曇野市役所 総務部 総務課 行政管理係

〒399-8281 長野県安曇野市豊科 6000 番地

TEL 0263-71-2408(直通) FAX 0263-71-5155

E-mail furusato@city.azumino.nagano.jp

令和3年7月発行

安曇野ふるさと寄附金 令和2年度活用事業報告



安曇野ふるさと寄附金を活用して
令和2年度に実施した事業の概要をお知らせします。
多くの皆さまからの温かいご寄附に感謝申し上げます。

令和2年度は、安曇野ふるさと寄附金として **4,267件 1,070,246,993円**のご寄附をいただき感謝申し上げます。寄附者の皆さまのご意向に沿って大切に活用させていただきます。



募集テーマ別	件数	寄附金額
1 豊かな人を育むまちづくり	891件	96,955,000円
2 防災力・減災力の強化に向けたまちづくり	402件	61,891,000円
3 出産・子育て環境が充実したまちづくり	1,031件	318,650,000円
4 活気に満ちた産業があるまちづくり	414件	165,885,000円
5 健康長寿のまちづくり	400件	126,858,993円
6 市長が選定した施策に活用	1,129件	300,007,000円
合計	4,267件	1,070,246,993円

たくさんの応援メッセージありがとうございます！ほんの一部ですがご紹介します。

★安曇野市の人々の暖かい対応とともに気持ちのいい空気、自然が大好きです。★将来安曇野で暮らして子育てをしたいと思っています。子どもが豊かな自然の中で伸びのび育っていき、笑顔溢れる街であり続けて欲しいです！★安曇野市のワインが大好きです。★安曇野から見える常念岳や白馬の山々など、美しい景色が恋しいです。★コロナで落ち込むことの多い毎日ですが、また落ち着いたら安曇野へ美味しいお蕎麦をたべに遊びに伺いたいです。がんばれ安曇野！★去年入籍しましたが、安曇野での生活を夢見て安曇野市にて婚姻届けを提出しました。★いつか行ってみたい憧れの街です。いつまでもきれいな自然と、すべての人が住みやすいと思えるような街でありますように。★きれいな川の流れが印象的でした。いつまでも美しい自然を残してください。★安曇野のりんごは最高に美味しい♡★毎年サイクリングに行く大好きな街です。★空気と水がきれいで、なによりアルプスが素晴らしかった。寒いけど、寒いときにこそまた訪れたいです。



あぷいーる

令和2年度活用事業のご紹介

令和2年度に安曇野ふるさと寄附金を活用した事業を紹介します。
安曇野市では、6つのテーマから寄附者が希望されたテーマに沿って、各種事業に寄附金を活用しています。また、平成27年に「安曇野市ふるさと寄附基金条例」を制定し、寄附金の一部は基金に積み立てたうえで、募集テーマに沿った事業に活用しています。



市内中学校にエアコンを設置



エアコンを設置した中学校の教室

近年の平均気温の上昇による夏季の熱中症予防など生徒の健康面への配慮のため、市内全中学校にエアコンを設置しました。（小学校、認定こども園は令和元年度に設置済みです。）これにより、快適で、生徒が意欲を持ち集中して授業に取り組める学習環境を整えることができました。

コロナ禍で頑張っている市出身の学生をふるさとの特産品で応援！

コロナ禍で通常の学生生活を送れずに苦しむ学生を応援するため、市出身の県外在住の学生に市の特産品を送付しました。学生からは「故郷の食材を送ってもらえて励みになった」などの声をいただき、大変好評でした。



コロナ禍でも頑張る県外学生に特産品をプレゼント

市内小学校に電子黒板を整備



電子黒板を使用した授業を受けている児童

児童の学習意欲・理解力の更なる向上を目指し、市内全小学校に電子黒板を整備しました。市では情報活用能力の育成を通じて生涯にわたって能動的に学び続ける力を育むために一人一台端末を貸与しており、端末と組み合わせた授業展開により、児童がより能動的・探究的に学習ができるよう、電子黒板を活用していきます。

子育て世帯の経済的負担を軽減のため、手当・給付金を支給

2子以降の児童を教育・保育施設を利用せずに家庭で保育している養育者に対して、子どもの消耗品などの購入に充てることにより、経済的負担の軽減を図るため、子ども一人あたり月額3,000円の手当を支給しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援する取組の一つとして、児童手当・特例給付を受給する世帯（0歳～中学生のいる世帯）に対し、児童一人あたり20,000円の臨時給付金を支給しました。



事業案内チラシ（一部抜粋）

地域の力で子どもたちの学校生活を支援



学校応援隊による持久走の見守り活動

コミュニティスクール事業は、地域と学校の距離を縮め、地域の方々の協働による開かれた信頼される学校づくりのための事業です。コロナ禍で学校応援隊（地域のボランティア）が支援になかなか入れない状況もありましたが、読み聞かせ、地域の歴史講座、収穫体験、部活動支援等、多岐に渡って学校を支援していただくことで地域と学校との連携を進めることができました。

国際的視野およびコミュニケーション能力をもつ人財の育成

中学校生徒の国際的視野の育成とコミュニケーション能力の素地を養うため、市内全中学校に外国語指導講師（ALT）を配置しています。生きた英語による多くのコミュニケーションの機会を得られるだけでなく、ALTから海外の文化や国際的な視野を学ぶことができました。今後もネイティブな英語に触れることにより、英会話力の向上を図ります。



外国語指導講師（ALT）との英語授業風景

災害発生時に備えるため、防災用品の購入補助や備蓄品の購入



市民が購入した防災用品の一例

災害が発生したときに市民の命を守るためには、自助・共助・公助の機能が十分に発揮できる体制づくりが大切です。災害への備えの拡充を図るため、市民の防災用品の購入に対して補助金を交付しました。また、市の備蓄品として、食料・飲料水・日用品、資機材等を購入しました。

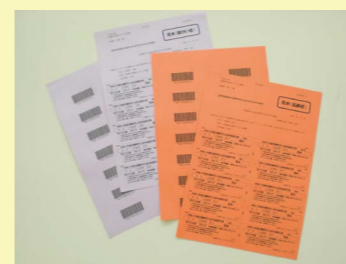
高齢者の生きがいと健康づくり

健康増進や介護予防のために定期的に健康づくりの活動を行う高齢者の自主活動団体を補助し、活力あるまちづくりを促進しました。令和2年度は70団体に補助を行いました。今後も事業を継続し、高齢者の生きがいと健康づくりにつなげていきます。



健康づくり活動の一例

高齢者や障がい者に市内入浴施設の入浴料金割引券を交付



入浴料金割引券

市内には多くの入浴施設があります。70歳以上の方や一定の障がいのある方が外出して心身共に健康に過ごせるよう、外出支援の一環として、市内の入浴施設で利用できる入浴料金割引券を年間24枚交付しました。高齢者や障がい者の方の外出のきっかけとなるよう、事業を継続していきます。